

きずな(絆) No.27

発行:全日本民医連 震災対策本部

《HP新着情報》 ○関連情報・重要なお知らせ～全日本民医連HPに随時掲載、更新中

★★東日本大震災支援の記録2(動画ニュース)福島県南相馬市(3/26-27)～

★【福島原発関連】4/1「正確に学ぶ放射線・人体への影響」講演録:齋藤紀医師

★現地・各地のとりくみ:4/2【宮城】災害復興ニュースNo21、4/1北海道、兵庫、3/31徳島

これまでこれからも～再建、復興の日まで支えあおう



■支部ニュース“温かい心を届けよう”:福島医療生協

「人を町を村を風景を一瞬のうちに叩きつぶし、呑み込んでいった未曾有の大震災。その上、最悪の原発事故で、住民は行方不明の家族を探すこともできないまま避難しなければならない悲しみと怒り。だが、こうした惨事と失意の底から被害者は立ち上がっています。これからを懸命に生きていこうとしています。いまそのために全国の助けを必要としています。霊山支部でも被災地へ、亡くなられた方々へ、これから困難を背負って生きていく人々に温かい心を届けようではありませんか。できるだけの気持ちを送り被災者を元気づけていきましょう。」

(「はつらつ」第71号 2011年3月 福島医療生協霊山支部)

■「住民の強さ」「片付け中狭心症発作が」支援者の「つぶやき」と気づき:山梨

●3/30(水)物資片付け、地域訪問をしました。浸水したお宅ではボランティアを心待ちにしています。／料理店のお宅の片付けは、生活・仕事道具が水没、冷蔵庫の中身を出して塩素処理をしました。現地の方言を聞きとるのがとても大変ですががんばります。／3/31(木)訪問にいった組合員さんのお宅の倉庫がヘド口でぐちゃぐちゃの状態でした。近くで高校生が片付け作業をしているのを見て、町全体で協力して本当に強いな、と感じました。／被害が大きい野蒜地区の避難所6ヶ所まわってから、組合員さんの訪問。連続勤務で帰宅できていない師長さん宅の泥出しも行いました。／4/1(金)余震が多いが慣れました。やはりラジオは絶対必要です。世の中のことがまるっきりちんぷんかんぷん、特に原発。／訪問先で「片付けていたら狭心症の発作がきた、さっき薬飲んだ」「こうやって声をかけてくれるからうれしい、あなた達も気をつけて」と逆に声をかけていただきました。津波のあとがまだまだすごいです。(「県連メールニュース」号外4/2 山梨民医連)



■今日から仲間～新入職員もいっしょに募金訴え:茨城保健生協



下市商店街は被災し休業している商店も多いなか、震災募金活動を行いました。スーツ姿の新入職員もいっしょに参加。買い物に来た方々が快く協力、小学6年生くらいの男の子が、お小遣いから1,000円募金箱に入れてくれて、感激!しました。

(「東日本大震災対策ニュース」No6 4/1 茨城民医連)



<お知らせ> * * * * *

○法人・事業所・県連が発行された支援ニュースや新聞報道掲載記事などは、info@min-iren.gr.jp(全日本民医連代表アドレス)に、集中してください。

○全日本民医連HPで関連情報・動画を8本掲載。活用し職場での意思統一、学習会を積極的に開催しよう。

* * * * *